SHIMANAMI OUTDOOR SCHOOL

しまなみ野外学校で生活力を育む~







しまなみ野外学校

五感を使って創造性を育むことを大切に考えています。 もちろん、野外以外でも様々な分野で創造性を育むこと は出来ます。私たちの活動を1本の木に例えると、木の根 とは、地球とつながっている環境のことを指しています。 しまなみ野外学校では、自然界や文化の中でフィールド ワーク行うことで、環境がおかれている現実を実体験を 通じて知り、より良い未来を築くために共に考える気づき の場でもあります。



なぜ野外体験なのか

~岡田武史の想い~

我々はど、ご見祖様は水河期や飢餓を 乗り越えてまた強い遺伝子を受け継いでいる。 しかし、我々が豊かだし思って作ってまた社会 こんないた便利、安全、快適なれた人の中では、 いっちんとスイッケが入らないなではないでしまった。

ーファ公園の遊戲具でけずんが出たら、 すべての遊戲具が使えていくなる。 危険なものはすべて排除かれている。 これてに守られていていつ発くなれというのでしかか?

1月スクにチレンジレ、国難と乗り越え 仲間と力ないは月的を達成にちい感動、 若者らい遺伝子にスパッかといる チンスを与えたいという思いで始めれた。

も53ん野外体験でなく7ト方注17あります。 しかし、自然の中で17.

科学がどれたり生歩にも金融工学が発達しても、人間が絶対に勝びれたがあるとと知るこれ出来する

发の見主かれる確実な時代もたくれく生き坊(FLKに 遺伝子にスかかもんり おかいかるもれに対する 畏めを知る下丛に 是非チャレンジ してもらいたいし見いする。

果港中国



(株)今治. 夢スポーツの取組みとしまなみ野外学校

株式会社今治. 夢スポーツの企業理念

次世代のため、物の豊かさより心の豊かさを大切にする社会創りに貢献する。

ミッションステートメント

MISSION 2 多様な人が集まり活気ある街づくりに貢献します

MISSION **3** 世界のスポーツ仲間との草の根の交流を進め、世界平和に貢献します

MISSION 4 地球環境に配慮して事業活動を行います



今治. 夢スポーツの事業領域



[スポーツ]



[教育]



[健康]

しまなみ野外学校とは

しまなみ野外学校とは、海や川、森や里の文化を通じて、自然と人の暮らしの共生を体感する事で、生きる力の育みや地球環境/自然への関心の拡大を目的とした気付きの場です。



しまなみ野外学校では 何を大切にしているか

私たちが大切にしていること

自然の懐に飛び込み「遺伝子にスイッチを」

自分の足で歩き、腕を使って漕ぐ。棲家を自分で作り、火を起こす。遥か昔から人が行ってきた営みは、人の中に眠っている野生の原始的な感覚を呼び覚まします。しまなみ野外学校では、実体験を通じて以下の3つを大切にしています。

COMMUNICATION

[コミュニケーション]

- □ コントロールしようとするマインドを手放し環境に委ねる体験
- □ 本音のコミュニケーション
- □ 目標に向かう連携の実体験



ACTIVITY

[グループによる冒険 / 体験活動]

- □ 達成感/成功体験の積み重ね
- □ 信頼関係の構築
- □ 自尊心を高める
- □ チャレンジする心を育む

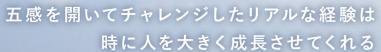


COACHING

[自然環境が生み出すコーチング]

- □ 本音が出やすい環境
- □ 安心して話し合う環境
- □ 本質的なポイントを直感的につかみやすい環境







しまなみ野外学校の活動実績

これまでの活動実績

2016

10月 今治市より「今治西部丘陵公園(しまなみアースランド)」の指定管理を受託し、管理運営を開始

2017

7月	「ザック1つで人は何処まで暮らせるか。無人島体験2泊3日」	高校生(30名)
8月	「島の冒険キャンプ9泊10日」	小中学(13名)
	「やまのこ / かわのこ冒険キャンプ2泊3日」	小学生(18名)
9月	「初めてのファミリーキャンプ1泊2日」	ファミリー(6組 / 18名)
	「キャンプ&自転車で行くしまなみ海道3泊4日」	私立大学授業14名

2018

1月	安藤スポーツ・食文化振興財団による「第16回 トム・ソーヤースク 安藤百福賞を受賞	ール企画コンテスト」において、
2月	「冒険いかだ作り1DAY」	団体新人職員(16名)
	「冒険いかだ作り1DAY」	スポーツ団体(18名)
4月	「仁淀川カヌーキャンプ研修2泊3日」	団体職員(12名)
	「春いろの森ヘトレジャーハイキング1DAY」	小学生(12名)
	「初めてのファミリーキャンプ1泊2日」	ファミリー(11組 / 38名)
5月	「竹の子 / 竹とり / 竹遊び1DAY」	小学生(7名)
6月	「分水嶺から海へ32km野宿 / 徒歩1泊2日」	国家公務員(6名)
7月	「海を渡り無人島へ3泊4日」	上場企業職員(12名)
	「冒険いかだ作り1DAY」	中国スポーツ団体(6名)
	「家族いっしょに森のECOキャンプ1泊2日」	ファミリー(11組 / 38名)
	「島の冒険キャンプ8泊9日」	小学生(14名)
8月	「瀬戸内海縦断プロジェクト8泊9日」	中高生(4名)
	「サマーキャンプ2泊3日」	小学生(22名)
9月	「冒険いかだ作り1DAY」	団体新人職員(10名)
	「初めてのファミリーキャンプ1泊2日」	ファミリー(11組 / 38名)
	「キャンプ&自転車で行くしまなみ海道3泊4日」	私立大学授業(14名)



報道 / 受賞実績



愛媛新聞において、国家公務員6名の 初任行政研修の活動が、3日間の連載記事として掲載(2018年)



TBS系列ニュース番組において、 島の冒険キャンプ9泊10日の活動が紹介(2018年)



愛媛新聞において、 島の冒険キャンプ9泊10日の記事が掲載(2018年)



安藤スポーツ・食文化振興財団 「第16回 トム・ソーヤースクール企画コンテスト」において、 安藤百福賞を受賞(2018年)



【活動の例-1】

島の冒険キャンプ8泊9日





島での生活を通して、自分に向き合い、仲間と向き合い、普段の生活では 体験出来ない達成感と、さまざまな経験を積む事で、自分の中に眠る無限 の可能性を呼び覚まし様々な事にチャレンジする。

date	日 程	2018年7月25日~8月2日
participant	参加者	小学生4年生~6年生の14名
place	場所	しまなみアースランド野営場・比岐島・平市島(無人島)

PROGRAM [プログラムの内容]



野外での生活術の習得



- ・無人島生活に備え自給自足にチャレンジ
- ・シーカヤックを漕ぎ無人島へ(6km)



- ・グループごとに無人島生活
- ・潮の流れを読み、シーカヤックで四国本土へ帰還



・片付けと振り返り









参加者の声 | voice.1 _

キャンプで学んだ事は、電気やガスが無くても工夫すれば生活できる事がわかりました。そして工夫する方法を教えてもらっても、一人では何もできない事が解りました。家族と9日間離れたからこそがんばれました。友だちと遊んだりして本当に楽しい9日間でした。

参加者の声 | voice.2 _

いつもは蛇口をひねれば水がいくらでもでて、ボタンを押せば火がつく。そんな日常生活で行っている何気ないことも便利だと感じました。





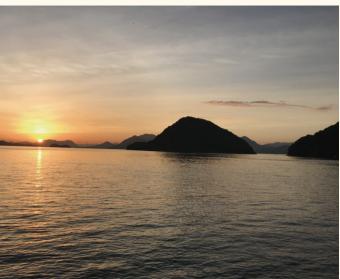
保護者の声 | voice.3 _

今回参加した感想の第一声は「しんどかった。〜」、そして「けど、たのしかった」と。「しんどかったけど、また行きたい!!」でした。しんどいも愉しいも両方体験できたことが嬉しくて、しんどくても、なにか彼の中で感じるものがあってそういう体験をさせてもらえたことが本当に有難いです。

保護者の声 | voice.4 _

親が心配するような事も無く、最高の笑顔で帰って来て安心しました。帰りの際、みんなに「バイバイ」ではなく「またね。」と言葉を交わしているのを聞いて、このキャンプが楽しかった事が伝わって来ました。島で学んだ事、楽しかった思い出、仲間たちとの出会い。これからの息子の人生を支える一つになったことと思います。













【活動の例-2】

瀬戸内縦断プロジェクト





「本当の豊かさとは何なのか」シーカヤックで海を渡り、瀬戸内の文化と自然に触れる事を通して、"生きる"ことに向き合いながら命のつながりを共に学んでいく。

date	日 程	2018年8月17日〜21日の4泊5日 ※台風の影響で期間を短縮して開催
participant	参加者	13~17歳の4名 ※西日本豪雨災害の影響で、不参加者あり
place	場所	しまなみアースランド野営場・広島県竹原市・生野島・大横島など

PROGRAM [プログラムの内容]

- 1-2
- ・個人の持つ習慣を手放す
- ・自然の中で人が暮らす技術を学ぶ
- ・野外生活術の習得
- 2-3
- ・シーカヤックの練習
- ・竹原から生野島へ横断
- ・グループでのキャンプ
- 3-5
- ・生野島から大横島へ横断
- ・グループでのキャンプ
- 旅の振り返り





参加者の声 | voice.1 _

キャンプ中は、初めての経験に毎度毎度心を動かされた自分がいた。様々な事を自分達で考えてやらなければならない事も多く、タープの倒壊や火がつかないなどもあったが、仲間と過ごした時間は最高だった。

_ 参加者の声 | voice.2 _____

キャンプに参加して、一人だと難しいことも仲間がいるとスムーズになる事、共存していく事、みんなで楽しく過ごす事、協力して生きていく事がとても大切だと感じた。



















【活動の例-3】

海を渡り無人島へ3泊4日





無人島という限界に近い状況だからこそ露呈される人間性と能力の限界。自分と対峙し、気付きを得ることで仲間の重要性、チームの必要性を体感することを目的としている。

date	日 程	2018年6月7日~10日
participant	参加者	一部上場企業の中堅職員12名(29歳~42歳)
place	場所	今治市桜井地区・比岐島・平市島など

PROGRAM [プログラムの内容]



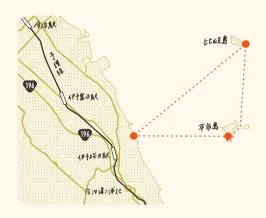
- ・シーカヤックと海との関係を学ぶ
- ・島暮らしに向けたチーム作り
- day 2
- ・桜井地区から比岐島へ横断
- 野外生活術の習得
- 野外炊飯
- ・行動計画の作成



- 考える・洞察する・認め合う・信じる・決断する
- ・比岐島から平地島へ横断
- ・無人島生活



- ・自然に適応した動きと達成感
- ・平市島から桜井地区へ横断
- 振り返り



SEA KATAKING E



. 参加者の声 | voice.1

個を伸ばすために、個々の持つ能力や特性をいち早く認めあうことが出来るような環境を整えることが大事だと感じた。

参加者の声 | voice.2 __

仲間の動きにも目を向け、何をすべきかを考えながら動くことが仕事でも重要だと感じた。





参加者の声 | voice.3

未知の経験を通して、ポジティブな精神を持つことが出来たと同時に、今後未経験な事についても アグレッシブに飛び込んでいきたい。

参加者の声 | voice.4

大人数で何かを成し遂げるには、今起きている問題や、目的、スケジュールなどの情報を共有することが肝になると学んだ。







【活動の例-4】

分水嶺から海へ32km





新採の国家公務員を対象に、地方の現場で実際に起きている事を体感してもらう。テント/鍋/釜/食器全ての生活道具を背負い自らの足を使って歩く中で、道端での発見や住民との出会いを通じて課題を肌で感じることができる。

date	日 程	2018年6月13日~14日
participant	参加者	国家公務員初任者 (財務省1名 / 農水省1名 / 総務省1名 / 内閣府1名 / 国交省2名)
place	場所	楢原山・今治市 玉川 / 朝倉地区 / 桜井地区など

PROGRAM [プログラムの内容]



- ・知恵と体験を共有し高め合う仲間作り ・振り返り
- ・登山
- ・コンパスの技術習得
- 人を信じる原体験へのチャレンジ
- ・未知を受け入れるチームハイク



- 出来なかった事が出来るようになる喜び
- チームハイクでゴールを目指す
- 振り返り

- ・地域の方との意見交換会
- ・キャンプ











参加者の声 | voice.1 ___

この研修では、様々な背景を持つ公務員だけではなく、地元自治体・企業といった立場を超えた方々 との交流を持つことが出来、この研修でしか得る事の出来ない縁や体験をする事が出来ました。

参加者の声 | voice.2 __

四国の道の2日間のキャンプでは、登山で迷うといった「未知」を経験し、他者と認めある事により、 他人とは違う自分、これまでの人生経験を見つめなおし、新しい自分に出会うことが出来ました。





参加者の声 | voice.3 _

この研修を経て、自分のなりたい公務員増が見えてきたように思います。私は心の豊かさを物の豊 かさを用いて育んでいきたいです。この目標に向かって自分の道を自分で定め、他者との真の協働 を行い、働いていきたいです。また、様々な地方の現状や、マイノリティの意見に耳を傾け、見て見ぬ ふりをしない様に働きたいと思いました。

参加者の声 | voice.4 ___

自分自身の至らなさ、他人と自分の違い、そんな中でグループとして前に進んでいく難しさと対峙し た一方、それらとしっかり向き合った結果、得られた達成感や一体感は何物にも代えられない、かけ がえのないものだったと感じています。



STAFF

きなせ ひろし

name:

木名瀬 裕



自然の中での発動は時には優しく近れんしてくれ、 時に厳しい場面に出くわす事ではう。 自己の成長を争助けしてくれる仲間の存在に 刷ますれ、気付かされ、酸されて、 好ならは、自分の中に眠る 無限の可能性と影練を開花させてください。 最高的仲間《最高的経験的舞台でもある。海中島かり 飲から違く離れてしまった人の夢らしとりじる。 自然のもとに戻し、命のつたかりの中に 生ま3専なる共に感じましょう。 るして、共に未来を想像し 自然界の子どもらしい一面を自由と出せるように、 私であるタックは、答うして陰なから支え、 "生まる"事に向き合いなから、"本省の豊かさとは何の"を、 体感出来るおに見守り、共に番みないと思っていまる 棉瀬裕

主な資格

NICKNAME

- □ 文部科学省小学校長期自然体験活動指導者
- □ 上級救命講習修了
- □ 北海道アウトドア資格審査員

- □ 一般社団法人OPEN JAPAN前副代表
- □ 北海道知事認定カヌーマスターガイド
- □ 北海道アウトドアテキスト編集委員

主な経歴

1989年より、長野県美麻村「遊学舎」、北海道「然別ネイチャーセンター」にて野外教育現場での活動を開始。その後1996年には、リバーガイドカンパニー「VOICE OF WIND」を設立し、主にカヌーガイドとしての活躍の場を広げる。その後、主に北海道を中心に野外活動や大学と連携した人材育成を推進し、2008年には、DENSO YOUTH for EARTH Actionの北海道野外活動部門を担当。2011年には、岡田武史

氏による環境教育のための法人「OKADA INSTITUTE JAPAN」の活動に参画し、野外教育プロジェクトを推進。また、これらの間、阪神淡路大震災、東日本大震災、熊本地震、平成30年度西日本豪雨災害をはじめとする、災害ボランティア活動にも従事。2017年に、株式会社今治. 夢スポーツの推進する「しまなみ野外学校」に参画し現在に至る。

STAFF

ほんだ たかこ

name:

本多 貴子





主な資格

- □ 日本キャンプ協会キャンプディレクター2級
- □ 文部科学省小学校長期自然体験活動指導者
- □ 北海道アウトドア資格ジュニアカヌーガイド
- ☐ Rescue3(SRT-1)

- □ 看護師
- □ 保健師
- □ 養護教諭2種
- □ 第1種衛生管理

主な経歴

国立成育医療センターや千葉県立こども病院のICU・脳外科などで勤務する傍ら、重い病気と闘う子どもたちのキャンプや病棟行事の企画・運営を統括するキャリアをスタート。その後2004年に、日本初となる難病のこどもたちのための常設キャンプ場「そらぷちキッズキャンプ」(北海道滝川市)に、創設時より関与し、公益財団法人そらぷちキッズキャンプのキャンプディレクターに就任。2014年には、南富良野町にある認定NPO法人「どんころ野外学校」のスタッフに就任。子ども・ファミリー向けの

野外プログラムを展開する傍ら、地域活動として、森を利用した子育で支援活動「森のようちえん」等を推進。また、委託事業として、デイサービスの企画・運営も担う。その後、認定NPO法人「難病のこども支援全国ネットワーク」主催するサマーキャンプ「がんばれ共和国」の運営委員にも参画。2016年8月には、南富良野町を襲った台風10号からの普及を目指すNPO法人「南富良野町災害ボランティアセンター」の設立・運営に関与。2017年に「しまなみ野外学校」に参画し現在に至る。



私たちが向き合うべき事

自然の中での活動は、時には優しく迎え入れてくれ、 時に厳しい場面にも出くわす事でしょう。

自己の成長を手助けしてくれる 仲間の存在に励まされ、気付かされ、愛されて、

皆さんは自分の中に眠る

無限の可能性と言う種を開花させてください。

最高の仲間と最高の経験の舞台でもある海や島が、

自然から遠く離れてしまった人の暮らしと心を

自然のもとに戻し命の繋がりの中に

生きる喜びを共に感じましょう。

そして共に未来を想像し、

自然界の子どもらしい一面を自由に出せる様に

私たちスタッフは、皆さんを陰ながら支え、

"生きること"と向き合いながら、

"本当の豊かさとは何か"を体感出来るように見守り、

共に育みたいと思っています。

あなたも、しまなみ野外学校の 冒険教育に参加してみませんか?

実現に向けてのステップ

全てのプログラムは目的に応じたオーダーメイド型です

今治. 夢スポーツのしまなみ野外学校では、実体験を通じた冒険教育の事業展開を2017年より開始し、現在までに10団体を超える方々にサービスを提供して参りました。



[お問い合わせ]

株式会社今治. 夢スポーツ

しまなみ野外学校 担当:木名瀬裕(きなせひろし)/本多貴子(ほんだたかこ)

EMAIL:contact@fcimabari.com

TEL:090-2789-2029/FAX:0898-31-8702

株式会社今治.夢スポーツ

しまなみ野外学校Q

